

ダンテ・オデュッセウス・知性

Dante, Ulisse e l'intelligenza

講演 **Lino Pertile** 教授 (ハーヴァード大学)

ダンテ『神曲』中に、オデュッセウスが実際の登場人物として出てくるのは〈地獄篇〉・第26歌ですが、彼をめぐる物語は『神曲』の随所に姿をあらわします。ダンテは、人間が生まれもった、ともすれば暴走しがちな「知性」という猛獣を、いかにてなずけコントロールするかという根源的かつ今日的な問題を、オデュッセウスを通して提起しているのです。今回の講演では、〈地獄篇〉・〈煉獄篇〉・〈天国篇〉の関連箇所を読み進めながら、そこにこめられた知性をめぐるダンテのメッセージを解明していきます。

日時 2013年5月24日(金)

14:45～17:00〔事前連絡不要〕

場所 京都大学 吉田キャンパス

総合研究2号館1F 第11演習室〔入場無料〕

言語 イタリア語(英語による質疑応答も可)

主催 京都大学文学部イタリア語学イタリア文学専修

(お問い合わせ先 tel/fax (075)753-2774

italomaniakyoto@hotmail.com)

講師紹介 リーノ・ペルティレ教授 (Lino Pertile 1940-)

ハーヴァード大学・ロマンス語学ロマンス文学教授。文学博士(パドヴァ大学)。

専攻:ダンテとラテン中世、ベンボと「言語問題」、フランス及びイタリアのルネサンス文学、フォスコロとレオパルディ、現代イタリア小説。

著書に、

La punta del disio. Semantica del desiderio nella Commedia, Firenze, Cadmo, 2005.

La scena del mondo. Studi teatrali per Franco Fido, (ed.), Ravenna, Longo, 2006.

La puttana e il gigante, Del Cantico dei Cantici al Paradiso terrestre di Dante, Ravenna, Longo, 1998.

The Cambridge History of Italian Literature, (ed.), Cambridge University Press, 1996.

The New Italian Novel, (ed.), Edinburgh University Press, 1993.

等があります。

皆さまのご来聴をお待ち申し上げます。

※ 翌5月25日(土)には、17:00より京大に隣接した日本イタリア会館において同教授による講演会「ダンテ:教皇とローマ教会」(日本語通訳付)が開催されます。(詳細は、<http://italiakaikan.jp/> をご覧ください。)

